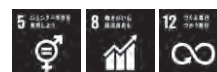


オリジナル科目



キャリアデザインと仕事

Career Design and Work

科目提供大学名	関西学院大学
担当教員	向井 光太郎（ハンズオン・ラーニングセンター 准教授）他 13 名
単位数	2 単位
最大授業定員	40 名
開講学期	後期 1 時限（10：50～12：20）火曜日（9月24日～1月14日、12月25日～1月7日は冬休み期間）
成績評価	出席と毎回「ふりかえり」（ペーパー）
テキスト	特になし
参考文献	授業中に紹介します（特にトピック、ニュース、企業や団体の事例など）
授業以外の学習方法	自分が目にするもの、触れるものを通して、考えることを繰り返すこと
その他の特記事項	実務家による授業（インタラクティブなコミュニケーションを含む）
講義概要	様々なフィールドで活躍する多彩でユニークな実務家を講師として迎え、コミュニケーションを重視した講義を通して、学生時代の過ごし方、これまでの自分史、仕事を通じた経験、いずれ就職して社会に出て必要となる力や考え方などを学び、将来の目標の幅を拡げながら自分なりに設定し、在学中にその実現や達成に向けた行動を取ることを目指します。
到達目標	<p>インプット：知識を吸収するために集中力と謙虚さを養い、「聞く力」を身につけること</p> <p>アウトプット：インプットを増やして、自分の意見を相手に「伝える力」を身につけること</p> <p>コミットメント：将来はヒューマン・ネットワークも重要なので、「接する力」を身につけること</p> <p>ポテンシャル：授業参加者との交流から、自分を見つめ直す「振り返る力」を身につけること</p> <p>モチベーション：現実のビジネス社会で自分の目標や夢を常に「磨く力」を身につけること</p>
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション（向井 光太郎） 2. キャリアをなぜ考えるのか、仕事とは何か（EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社東翔平） 3. 大学で学ぶこととプロ生活に求められるもののギャップ（富士通 川邊 紫） 4. 人との関わり（山陽建材工事 中村 彦士） 5. 地元尽くす（高山堂 竹本 洋平） 6. 進学とキャリア（神戸新聞 安藤 真子） 7. 海外で働く選択肢（合同会社 日の本紹会 室井 匡人） 8. 地域に尽くす（&cocochi 中島 摩理奈） 9. 身につけた職（LA PIZZERIA DA NINO、ひでこ食堂 美延 智彦） 10. 顧客とのつながりを生む営業（ソフトバンク 貴堂 純也）

11. 生成系AIとITリテラシー（ノザキソフト代表取締役 野崎 巖）
12. 自らの所作、ふるまい（ANA総合研究所客員研究員 正原 直恵）
13. 就職活動の多様化にむけて（メディア総研 田中 海登）
14. 仕事の宿る場所を眺める（近畿財務局神戸財務事務所 向日 恭子）
15. ふりかえり・まとめ（向井 光太郎）

「キャリアデザインと仕事」

【更新履歴】

1. 第4回と第10回の担当者入替（2024.4.18）
2. 第7回、第8回の担当者所属変更（2024.4.18）
3. 第14回の担当者変更（2024.6.26）



【代表】向井 光太郎（ハンズオン・ラーニングセンター 准教授）

- 1968年大阪市生まれ。関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了。修士（経営学）。専門はマーケティング、営業、流通チャネル、サービス・マネジメント。現在、日本マーケティング学会（理事）、Global Sales Science Institute、日本キャリアデザイン学会、日本インターンシップ学会、奈良市建築審査会委員著書（共著）「顧客価値創造型営業への進化」（ジェイティービー能力開発）
- 研究活動は、大学を卒業して会社員6年目でした。そこで、もっと専門的な知識を得て社会に活かす力を身に付けるべく、勤務時間後に母校の大学院に通いました。1990年代の後半でしたが、学修と職業を両立させるためにリモートワークやモバイルワークをすでに実践していて、これからの働き方を支える基盤づくりの大切さを30年前に痛感していました。自分の将来を考えるからこそ、いま自分は何を考え動くのかではないでしょうか。
- 就職活動を成功させるために、内定を獲得するためのノウハウ、プロとして身につけるべきことをインプットする受け身のスタンスではなく、経験談や仕事の内容を聴き教わることを超えて、多彩な講師陣と触れ合うことで、自分は何を考えるべきなのか、とことん突き詰めてみてください。講師一人ひとりも、いま考えて行動しているはずですよ。
- 受講生の皆さんも社会の一員、社会人です。同じ社会に生きる人として、いろいろな自分の周りのことに関心を示してください。それらに触れて何を考えるのか、毎日の生活で少しずつできるはずですよ。皆さん一人ひとりが「こんなことを考えている自分」です。授業では、講師とアウトプットを交わしていきましょう。



東 将平
(EY Japan)



川邊 紫
(富士通)



中村 彦士
(山陽建材工事)



竹本 洋平
(高山堂)



安藤 真子
(神戸新聞)



室井 匡人
(平衡舎)



中島 摩理奈
(銭屋本舗)



美延 智彦
(LA PIZZERIA DA NINO、ひでこ食堂)



貴堂 純也
(ソフトバンク)



野崎 巖
(ノザキソフト
代表取締役)



正原 直恵
(ANA 総合研究所
客員研究員)



田中 海登
(メディア総研)



宮地 俊輔
(近畿財務局)

* 講義順